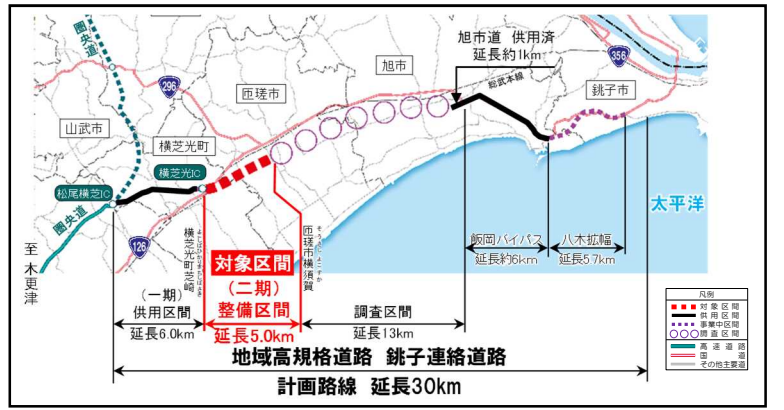


再評価結果（令和4年度事業継続箇所）

担当課：道路局 国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業名 地域高規格道路 銚子連絡道路 一般国道126号 山武東総道路二期	事業区分 一般国道	事業主体 千葉県
起終点 自：千葉県山武郡横芝光町芝崎 至：千葉県匝瑳市横須賀		延長 5.0km
事業概要 銚子連絡道路は、山武市から銚子市に至る延長約30kmの地域高規格道路である。 「山武東総道路二期」は、銚子連絡道路の一部を構成し、一般国道126号の交通混雑の緩和などを目的とした延長約5.0kmのバイパス事業である。		
H16年度事業化	H19年度都市計画決定	H22年度用地着手
H24年度工事着手		
全体事業費 約141億円	事業進捗率 約52%	供用済延長 ー km
計画交通量 約10,400～12,600台/日		
費用対効果 B/C (事業全体) 1.01 (残事業) 2.8	総費用 (残事業)/(事業全体) 53/146億円 事業費：47/141億円 維持管理費：5.5/5.5億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 148/148億円 走行時間短縮便益：123/123億円 走行経費減少便益：20/20億円 交通事故減少便益：4.0/4.0億円
基準年 令和3年		
感度分析の結果 (事業全体) 交通量：B/C=0.87～1.2 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=2.4～3.2 (交通量±10%) 事業費：B/C=0.98～1.04 (事業費±10%) 事業費：B/C=2.6～3.1 (事業費±10%) 事業期間：B/C=0.97～1.05 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.7～2.9 (事業期間±20%)		
事業の効果等 ・日中を通して発生している国道126号の渋滞緩和と交通事故減少による安全性の向上が期待される。 ・第3次救急医療施設(国保旭中央病院)への搬送時間が短縮し、地域医療サービスの向上が期待される。 ・緊急輸送道路の1次路線や津波被害時の道路啓開候補路線に選定されている国道126号の代替路となり、リダンダンシーの向上や地域の防災機能の強化が期待される。		
関係する地方公共団体等の意見 ・沿線自治体で構成される「山武・東総地域広域幹線道路網整備促進期成同盟会同盟会」から要望を受けており、国土交通省、財務省等への要望活動も行っている。		
事業評価監視委員会の意見 事業継続を妥当と認める。		
事業採択時より再評価実施までの周辺環境変化等 圏央道の横芝松尾ICに接続する山武東総道路一期が平成18年3月に供用している。		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率99%、事業進捗率約52%		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 今後は令和5年度までの開通を目標に工事を推進していく。		
施設の構造や工法の変更等 引き続き、建設発生土の有効活用の検討を進め、更なるコスト縮減に努める。		
対応方針 事業継続		
対応方針決定の理由 事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。		
事業概要図 (図表は省略)		



- ※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価値を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
- ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳と一致しないことがある。